

萩フェス 2025



はぎわらだより

萩原区
広報部

R 7
10月号
第472号

萩原公民館
ホームページ



萩原公民館
LINE



9月21日（日）御殿場小学校グラウンドにて「萩原フェス2025」が盛大に開催されました。新型コロナウイルスの影響により、体育行事としては実に7年ぶりの開催となり、地域にとって待望のイベントでした。従来の運動会形式から一新し、年齢を問わず楽しめるリクリエーション種目を中心とした構成となり、幼児から高齢者まで約200名が参加。昨年はあいにくの雨で中止となったため、今回が事実上の第二回目の開催となりました。

イベントは「もぐもぐタイム」でスタートし、ムカデじゃんけんや三組対抗リレーなど、全12種目を実施。「ムカデじゃんけん」は、特にテーマである「もう一度、萩原がひとつになる日」を象徴するように、最後には参加者全員がつながる形で一体感を体現しました。総合優勝は白組（京塚原組、北組、入組）が獲得しました。参加者からは「久しぶりに地域で笑い合える時間が持てて嬉しい」「子どもと一緒に楽しめた」といった声が多く寄せられ、大成功のうち幕を閉じました。

企画・運営を担った体育振興会や関係役員の皆様、本当にお疲れ様でした。



100名以上が参加



表彰式 総合優勝



ムカデじゃんけん



もぐもぐタイム



ビーチボールトスリレー



人間知恵の輪



宝釣り



子供綱引き

萩原神社例祭

10月12日(日)、萩原神社において内海宮司様・内海神官様を祭主にお迎えし例祭が厳肅に執り行われました。早朝より神社にて「敬神生活の綱領」奉読、「御霊写しの儀」が執り行われた後、集合写真が撮られました。そして打ち上げ花火の合図の下、台車に載せたお神輿を徒歩にて渡御開始しました。

今年はずしぶりに天狗さんも区内を徒歩で回ったため、祭りの雰囲気も盛り上がり、各御旅所に集まった子供達に注目されていました。各御旅所では、区民の安心安全、無病息災、五穀豊穡を祈願し、関係者の皆様により玉串奉奠が行われました。

なお、御旅所は以下の三か所で実施されました。

- ・子の神社(小原南組・小原北組・広町組)
- ・水道組合様駐車場(大原組・官舎組・郷土組)
- ・中央グリーンタウン公園(入組・北組・京塚原組)

三か所での渡御を終えた後、神社へと戻り、還御の儀が行われ、無事にお神輿が社殿へ納められました。祭典の運営・準備に携わられた関係者の皆様、早朝より誠にご苦勞様でした。



御殿場市総合防災訓練

8月28日(木)南海トラフ巨大地震を想定した「令和7年度御殿場市総合防災訓練」が行われました。

萩原区では長田区長を中心に、谷上防災本部長の指導のもと図上訓練を実施しました。内容としては避難者の確認、避難者の健康状態の把握、被災場所の状態確認等が行われました。そしてそれらの状況をまとめ、市役所の危機管理課へ連絡するまでの作業が行われました。最後に、萩原区防災倉庫内の在庫状況を確認し終了しました。

萩原区民の方々には置かれましたは災害に備えて、普段から準備に心がけてください。



地蔵尊例祭

8月24日(日)に萩原コミセン地蔵の間において地蔵尊例祭を執り行いました。

地蔵の間にはその昔廃寺となった大蔵山万法寺と十王堂の地蔵尊が安置されています。かつてはお地蔵様を尊稱(そんじょう)・尊敬の気持ちをもって呼ぶ表現の(と)されておりました。

万法寺・十王堂ともに宝寺院の末寺であり地蔵尊例祭には宝寺院のご住職様により例祭の読経・説法をお願いし供養を行っています。

また、地蔵の間には他にも日本に数例しかない重要文化財ともいえる十王図も残されています。



四相権現祭

9月22日(月)、萩原神社に於いて内海宮司のもと、四相権現祭が厳肅に執り行われました。

四相権現とは、天明の飢饉により疲弊した御厨地方を救うべく、各村の代表者が当時この地を支配していた小田原藩に対し、年貢の減免や救済を嘆願したものの、その願いは聞き入れられず、罰を受けたという歴史に由来します。萩原村からは四名の代表が立ち上がりましたが、そのうち一名が打ち首、三名が所払いとなる悲劇的な結末を迎えました。萩原村の人々は、その勇氣と犠牲に深く感謝し、四名を「権現」として祀り、萩原神社にてその御霊を称えています。

天明の飢饉から200年を迎えた昭和59年には、四人のご子孫により「萩原四相権現200年記念碑」が神社境内に建立され、後世にその歴史と想いを伝え続けています。



戦没者慰霊祭

9月22日(月)、萩原公民館慰霊塔前にて、内海宮司様のもと戦没者慰霊祭が厳かに執り行われました。

戦後80年が経過し、戦争の悲惨さを直接知らない世代が大多数となった現在、萩原区出身で古くは西南の役から、日清・日露戦争、先の大戦に至るまで、国のために命を捧げられた58柱の英霊に対し、深い敬意と感謝の念を込めて慰霊が捧げられました。参列した萩原区役員一同も、改めて平和の尊さを胸に刻み、世界の恒久平和を祈願しました。

近年、ウクライナでの戦争など、世界では今なお多くの人が争いに巻き込まれ、命が奪われています。戦争の記憶と犠牲の意味を風化させることなく、次の世代に語り継ぎ、平和を希求し続けることの重要性が改めて問われています。



はぎわらだより

駿東父親ソフトボール大会

8月31日(日)、裾野市総合グラウンドにおいて「駿東地区父親ソフトボール大会」が開催され、5チームが出場しました。萩原区チームは清水町代表チームと対戦し、6対2で惜しくも初戦敗退となりました。猛暑の中での試合となり、厳しいコンディションに苦しみながらも、選手たちは最後まで全力を尽くしました。

大会の開催にあたり、準備や運営にご尽力いただいた体育振興会の皆様に心より感謝申し上げます。来年こそは初戦突破を目指して、引き続き練習に励んでまいります。



地区ソフトボール大会

9月28日(日)、御殿場東小学校グラウンドで地区ソフトボール大会が開催されました。萩原区チームは予選初戦、東田中チームと対戦。試合は3回表まで7対1と苦しい展開でしたが、グラウンドのネットを越え、民家の屋根を直撃する見事な3ランホームランが飛び出し、反撃ムードを高めました。しかし惜しくも敗退となりました。続く第二試合では深沢チームと対戦。初戦の悔しさを晴らすように打線が大爆発し、17対3の3回コールドで快勝。予選2位という好成績を収めました。惜しくも決勝リーグ進出はなりませんが、曇り空の下でも蒸し暑さの残る一日でしたが、選手の皆さん、そして大会運営を支えてくださった体育振興会の皆様、本当にお疲れ様でした。



芙蓉教室(第2回)パークゴルフ大会

10月1日(水)、高根西ふれあい広場で「第2回芙蓉教室パークゴルフ大会」が開催されました。

当日は小雨がぱらつくあいにくの天候で、開催が中止か判断が難しい状況でしたが、参加予定者31名中24名が現地に集合。皆さんの熱意もあり、予定通り大会を実施することができました。参加者は雨具を身につけたり、傘を片手にプレーするなど工夫しながら、全18ホールを最後まで無事にプレー。大きな怪我やトラブルもなく、和やかな雰囲気の中で大会を終えることができました。結果は以下の通りです。

優勝…向井 健様
 準優勝…芹澤 辰春様
 第三位…杉山 忠明様
 参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。



行事の予定(11月8日～1月22日)

- 七歳児祝い 11月8日(土)
- 緑化活動 11月9日(日)
- 地区パークゴルフ大会 11月16日(日)
- 新穀感謝祭 11月23日(日)
- 自主防災訓練 12月7日(日)
- 第三回芙蓉教室 12月10日(水)
- 初詣・元旦祭 1月1日(木)
- 二十歳の集い 1月11日(日)
- 祈年祭 1月22日(日)

お知らせ

11月2日(日) 萩原公民館でふれあい祭りが開催されます。ステージ部門、展示部門、屋台部門に加えてイベント部門として、餅つき、スタンプラリー、夢かまど様アンケートでお米、たい肥を配布します。奮ってご参加ください。

令和七年度『編集委員会』

- 主事 滝口 勲
- 副主事 小町秀之
- 部長 遠藤茂夫
- 副部長 有園良太郎
- 副部長 勝間田繁
- 委員 寺村譲治
- 委員 林 義博
- 委員 土屋英博

萩原区広報部
 TEL 83-0897
 FAX 83-0898
 ホームページ
<https://www.hagiwara-ku.com/>